

| |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現在の地区は仲原ハイツなのですが、顔を合わせる事もないので18戸中、数戸しか話す事もないし、まして、自治公民館の活動と言われても他人事。(実家の方は農業、農家なのでいろんな集会がありました)</p> |
| <p>活動が大きくなりすぎて、毎年続けるのが大変。 実際やったら満足感はあるが当日の準備から片付けまで大変だ。</p> |
| <p>分館から公民館に移行して10年近くなる。 町内でよく聞く声が班を抜ける(個人)世帯が多くなったということだ。 公民館制になったため、大きな集団となり、気分的に班に縛られるより楽と思う人々が多くなったと思う。</p> |
| <p>設問2で、役員をやる人が必要だと思っている</p> |
| <p>敬老会は夏場でもあり、送迎も必要になることが多く、冷房のある広い場所もないので川南町の方で一括でやってほしい。 個人情報保護法の規律のうえ敬老行事を行う事が各振興班に入った方が各家の人員を知らない人がいるうえで名簿を配ることも承諾書を一人一人取ることがとても難しい。それを自治公民館に丸投げ、なかなかだと思えますどう思われますか。</p> |
| <p>現在振興班の皆様は自治公民館への参加がほとんどないと思います。 自治公民館の活動は最低でも振興班単位で参加できるのであれば良いが、今は一部の役員の方々が活動され全く振興班には伝わらないし、振興班の存在がわからない、基本は振興班が中心に運営をして行うべきではないかと思う。</p> |
| <p>一部の人の(役員)考えで行事等進めている様な気がする。 予算をもっと有効に使ってほしい。何に使うのが大事を深く考えて。</p> |
| <p>設問5に対して、公民館制の理念は何なのかをもっと考えてもらいたい(地域のきずな)</p> |
| <p>分館制度のときから役員をしているが自治公民館制になって他地区の人知り合いになれて良かったと思っている。若い人にもぜひ参加してもらいたいと思っている。</p> |
| <p>加入・不加入自由?目的が理解されていない。</p> |
| <p>自治公民館の行事が多く、役員の負担を考えると年間行事の回数を見直し、縮小してほしい。</p> |
| <p>自治公民館の活動の主力は時間の都合がつきやすい年配の方々ですが、仕事等で難しいですが若い方をどれだけ巻き込めるかがこれから大事になってくると思う。イベント対象者も子どもが参加できるものを多く企画する必要があると思う。若い人の地域外流出を少しでも少なくする必要がある。</p> |
| <p>80歳過ぎると若い人達に期待するのみです。</p> |
| <p>子どもたちに昔はこんな遊びがあったとか教えてあげるとか! たとえばビー玉の穴入、パッチンなど</p> |

役員としてもいっぱいいっぱいですが、館長が一生懸命取り組んでくださるので、少しでもできることはお手伝いしていきたいと思っています。すべての地区の方が満足できる活動には限界があるので、これ以上、行事等がふえればそれを行う役員さん方も大変になるのではと思う。

行政のサポート不足を感じます。その強化(サポートをたえずしていくこと)で差がつかなかったと考えます。(それぞれ自治公民館の)

ここ2~3年はコロナで活動が出来なかったが、花火大会においては良かったと思う。だが1年を通して魅力ある活動はなかったと思う。役員をしていたころも仕方なくやっているだけで次回やろうとは思わない。

役員を選出が、現在活動可能な一部の振興班の中でしかできない状況にあり、不公平だと感じる。活動出来る振興班も少なくなっていく事が予想されるので、どちらかの制度へ一本化すべきである。

現在私たちの区では振興班が9つ存在していましたが、校区制になったことにより1つの振興班が消滅し、今年、3つの振興班が区から脱会しました。今現在、役員は持ち回りで了解を得ましたが今後、高齢化社会の中で役員の成り手が存在なくなり、区事態が崩壊すると思います。私個人の考えですが、校区より区、区より振興班をまちは大事にした方が良くと思います。(女性委員は、現在2つの振興班で持ち回り 時間の問題)

まずは自治公民館制度の役員のなり手不足で、高齢化というので個人になるところが多いに増えています。少しは役場の方であまり地域を巻き込まないで誰でも動きやすい町作りにしてほしいです。

老人会？長寿会の集まりは、よくあるようです。
子供会としての集まりがあると、嬉しいです。各地区の子供会は、人数が少なく、活動が出来ない？しにくい状況です。

振興班加入世帯が減少しているので班長になるサイクルが短くなっている。子供の育成世代やサラリーマンには、運営委員会に参加するのも大変苦勞するし、イベントに役員として駆り出されるのも中々厳しい状況にあるのが現状。活動について理解していない訳では無いが、何かしらの工夫が必要に思う。

分館制度から自治公民館制度に移行したが、現在実施されている行事は、旧分館単位で行われていたものが多く。各行事の対象住民も旧分館地域の住民を対象にして行われているようである。一体、自治公民館制度とは何なのかがわからない。旧制度に戻すことも「あり」ではないか？

分館制の時と比べて、地域の人との繋がり、絆が、凄く薄れてきていると思う。地域を活性化する為にも。町として、自治公民館制に変えたわけなので責任をもって、地域を活性化する施策を町議会を含めて考えていかないといけないのでは、と考える。町民総ぐるみのスポーツイベントなど、復活させるべきだと提案する。若者も含めて、町民が参加しやすい、やり方を検討すべき。今年は、コロナもある程度、収束し、区独自で、盆踊り祭りのイベントを何年かぶりにやったが、地域のいろん

な方と会話もでき。こういうイベントは、伝統を受け継ぎ、続けていかないと行けないと実感した。

分館制度から校区制度に変わったと思っていたのですが、未だに分館制度の活動として動いているのは理解しがたい部分がある。

以前は、校区の集まりに分館長が出席し、分館の集まりには振興班長が出席していて、振興班加入率も高かったのでそれなりに機能していたように思います。現在は、高齢化が進んで振興班長も負担になっているほか、自治公民館から下につながるネットワークがなく、自治公民館役員の負担だけが增大しているように思います。何かを企画しても広報手段が少ないため、参加者・協力者は多くなく、達成感が得られず役員や関係者が疲弊しているのが現状です。

これまでも、長寿会の皆さんと川小児童の交流で、給食を一緒に楽しむ会を行ってきましたが、今年度から、新たに川小5年生80人と公民館女性部の交流事業として、公民館で郷土料理をつくり食べる会を計画しています。待つではなく、出る活動を心がけて欲しい出ていく活動を期待します。

西地区の産業文化祭に参加させていただきましたが、すごく良い活動だと思いますので、是非続けていただきたいと思いました。協力もしたいと思います。

将来必ず起きる南海トラフ大地震に対応するためにも、自治公民館の避難所としての役割は、重要と考えます。

発生時の備蓄品配布等の対応、行方不明者の把握、捜査のための人の横のつながりを構築すの等、自治公民館の果たす役割は大きいです。

この自治公民館制度は、振興班から離脱する個人を解消することを目的としたはず。しかし、実際には最小コミュニティである振興班や分館を消失させ、その区域に生活するものをすべて各地区の自治公民館に所属させることで個人はゼロになったと役場は言い張っている。しかしながら、各地域の活動性は低下し、さらに伝統文化を継承することが困難になった地域がたくさんある。小さな組織で運営がうまくいかないものを大きな組織にすればそれはもっと運営を困難にしてしまう。そんなことは少し考えればわかりそうなことだが、当時の町長には理解が及ばなかったのだろう。前町長には何度も指摘したことがあるが、どうでもよかったのかもしれない。この制度は町の発展や活性化にとって大ダメージであり前町長に重大な責任があると思う。また、個人を優遇するあまり回覧板と同じ内容物を各世帯に郵送するようなバカな対策までされ、ますます個人を優遇する政策がとられているがいつまで続けるつもりか？これによる費用は年間どれ程なのかも知りたい。そんなお金があるんだったら、もう少し有効に利用したら！と思う職員はいないのか？今更ながら、この自治公民館制度はどうかにならないものか？この制度になってからのメリットや良かったという意見を聞いてみたい。

活動に参加する人はいつも同じ人。自治公民館活動に魅力がないのだろう。だからといって何も出来ないでいることがもどかしい。

行事がまあまああるがいつも役員だけが骨おっているだけのよう思う。

| |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 若い人の参加がない。若い人を自治公民館活動にどう巻き込むかが課題 |
| 10 年前に想定していた個人の解消は、進んでいるどころか個人が増えている状況と思われる。 |
| 住民の繋がりや地域文化の継承など、明確な目的がある活動は続けていくべき。ただ、何となくやっているものなどは廃止し、負担の少ない活動を目指すのが良いと考えます。 |
| 仕事を休むことが出来ないので、なかなか参加できていない。公務員のように有休をいつでも取れば今よりは活動できると思う。 |
| 一般の町民がより広く参加できる行事を増やしてほしい(割と中央は参加できる行事が多いと思うが呼びかけが隅々まで伝達できるかが不明) |
| 敬老会は、町の行事として役場の方で計画実施したほうが能率的と思う。 |
| 旧分館がなくなって、振興班間の連携が弱小化している。又、自治公民館の活動も運営上の問題か、振興班の出席が非常に悪い。笛吹けど踊る駒がない状況では活動は停滞する。公民館制度になって振興班を抜ける者か、地区の自治会を抜けるものが増えている。従って財政的に苦しくなっており、何らかの援助が必要でないか。 |
| 旧分館を基本に活動し、その上に自治公民館とし、旧分館と現自治公民館(校区)のつながりを持った方が良い⇒自治公民館長の常勤は必要ないと思う。 |
| 高齢者や障がい者支援は常にその必要性は言われている。共助。公助は地域や行政が行うものであるが、実際にどのような活動をしているのかはよく見えない。高齢者や障がい者のリストアップに対しては「個人情報保護」の壁があるが、支援を有効なものにするためには地区の被支援者を地域で共有し、災害等の際に地域で助け合わないといけない。自治公民館はその役割があると思うが、現状ではそのような活動を感じない。 |
| 旧区制がなくなり地域の繋がりが希薄になってきています。地域の伝統行事が高齢化と人員不足の為省略されたり、取りやめになったりしています。今、部落内の共同作業は田んぼの水路作業、道路整備、御神幸原等の共同事業は盆祭りもありましたが今年からは高齢化のため中止です。又、となり部落等の協同事業は長寿会が行う神社の清掃。バスでの研修、運動会、グラウンドゴルフ等です。 |
| 設問2 について、現在は役員だが、本業の仕事との両立が大変だ。 |
| もっと40代世代の男性、女性の方の役員をすすめたい。 |
| 若い方の協力が欲しいです。 |
| 振興班をやめる人が多くなっています。前の区の方がいろんな活動が出来たと思います。今は参加する人はしてますか？活動してることすらわからない状態です。 |
| 公民館活動と住民との道が遠い。 |